

事務事業評価表 平成23年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 市民スポーツ活動の充実
 基本事業 スポーツ・レクリエーション機会の充実

事業名 **東野幌体育館管理運営事業**

[5241]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 東野幌体育館
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 施設の管理運営を指定管理者に委託する。
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	指定管理委託料	千円	18,952	18,505	18,538	18,538
活動指標2						
成果指標1	利用者数	人	64,683	59,931	61,777	63,000
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	79,742	18,505	18,538	18,538
正職員人件費 (B)		千円	1,672	415	403	407
総事業費 (A) + (B)		千円	81,414	18,920	18,941	18,945

費用内訳	
22年度	委託料 18,538千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	平成 15年 10月よりスポーツ課所管 平成 20年度には、中原通り拡幅に伴い会議室 1の移転再築工事を行った。
--------	--	-------------	---

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

市民がスポーツに親しむ場を提供することにより、市民の健康維持やスポーツの普及・促進につながっており、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

野幌鉄南地区に位置する当施設は、市民の身近にあるスポーツ施設として活動場所を提供するものであり、市民がスポーツに親しむ機会が増している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

学校週休 2日制により児童生徒や親子連れの利用者が増えているとともに、高齢者も余暇の時間をスポーツに費やす傾向が見られるなど、市民皆スポーツという大きな目標に向け、成果が上がってきている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

スポーツ教室事業や健康相談事業を通して、市民がスポーツに親しむことを習慣化することができれば、スポーツに親しむ市民の増加が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

平成 18年度より指定管理者制度を導入した。